

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

まちの保健室 開催 !!

今年も鳥取看護大学の実習生の受け入れが始まりました。今年は2グループ7名の看護学生の指導をします。1グループは5月29日～6月1日、2グループは6月19日～6月22日です。今回、1グループの「まちの保健室」は灘町2区にある「サロンひだまり」にて行いました。4名の学生は工夫を凝らして利用者様に分かりやすく伝え活気のある保健室となりました。



★実習受け入れの流れについて

訪問看護ステーションハートケアでは毎年、鳥取看護大学の学生の実習指導をしています。“地域密着看護”を学ぶ実習生を受け入れるにあたりスタッフも様々な準備を行っています。今回は1グループの実習の様子と共に受け入れまでの準備についてお伝えします。実習の始まる2カ月前から、実習入れ施設と大学とのオンライン会議があります。その後、学生と実習指導看護師と打ち合わせを行い、学生の実習の目標を確認しながらハートケア内の会議でスケジュールを組み指導看護師を決めます。

今回は実習1日目に照陽の家利用者様と「思い出カフェ」を開催しました。“目でみるとっぴり百年”という本に掲載されている戦後の米子市の街並みの発展を利用者様とともに写真を見ながら語り合う会です。利用者様は女学校時代の話などで盛り上がり学生さんとも話しをする良いきっかけとなりました。2日目、3日目には外出支援、4日目には灘町にあるサロンひだまりで「まちの保健室」を開催し地域密着型サービスについて学生達は学びを深める事が出来たと思います。準備をしている側の私たち看護師もこのカフェを通して利用者様から今まで知らなかった昔の話を沢山教えて頂き楽しい時間となりました。もう1グループもしっかり準備をして実りある実習をサポートできるようにしていきたいと思っています。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



草月流の生け花展に行きました。斬新な作品が多く心が洗われるようで「自分ももう一度生け花をしてみたいなあ」とつぶやく人もありました。



照陽の家では、「社会参加支援」について力を入れています。障がいや加齢により以前と同じようには出来なくても手段や方法を工夫することで、「その人らしい社会参加」を考え生きていく喜びに繋がるよう小規模多機能サービスならではの支援活動をしています。



かねてから近所の「大黒屋の蕎麦が食べたいなあ」と言われていた利用者様と一緒に出かけました。お店の方も気さくに話しかけてくださり昔ながらの落ち着いた雰囲気の中で職員も利用者様と地域交流を楽しむ事が出来ました。

スタッフ紹介

看護師 澤田 恵

今年の4月より入職しました。訪問看護の分野で働くのは初めてであり至らない所もあると思いますが、職員、利用者様ともに温かく接していただき、日々感謝しながら働かせて頂いております。また、働いていて照陽の家は本当に名前の通り暖かな空間だと感じています。この職業をしていると色々な人生経験を積んだ方々と接したりお話を聞かせて頂いたり、学ぶことや気付かされることが多くあります。これから先も出会いを大切にしたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。